

千葉市が目指す新たな観光都市マネジメントの実現に向けて (概要版)

ビジョン

世界中から人々が集い未来に向けて進化する交流文化都市

コンセプト

自然や文化を感じるアクティビティが楽しめるアーバンリゾート

- ・まち・うみ・みどりの豊かな自然環境、豊富な食、資源等を活かした「千葉市ならではの」新しいライフスタイルを来訪者と市民が共に創り、充実した時間を過ごせるまち。
- ・首都圏と房総を結ぶゲートウェイとして、都市の快適さとリゾートとしての潤いによる豊かな時間と体験を提供し、あらゆる人々をおもてなしの心でお迎えするまち。

<実現に向けた5つの視点と15の提言>

視点1. 千葉市の強みを活かした新たな交流文化都市創造

日本有数のコンベンション施設「幕張メッセ」を有し、政令指定都市でありながら「ビーチ」「里山」「都市」の「3つのエリア」を複合的に併せ持つ千葉市の強みを活かして、住民と多種多様な来訪者が愉しみ、交流・相互理解することで交流文化都市を創造するという視点。

視点2. 千葉市らしさの創造に向けた観光資源の磨き上げと生産性の向上

千葉市の3つのエリアそれぞれに点在する「千葉市らしい」特色ある文化・歴史・芸術・まちなみなど、観光資源となり得る素材（コンテンツ）の磨き上げとストーリー開発、周遊の仕組みづくりにより、千葉市全体で選ばれ続ける観光都市を創造すること。またそのためには、千葉市が保有する資産や文化財活用の最大化を実現し、規制緩和により民間活力を導入することで生産性を向上させるという視点。

視点3. 業種を超えた民間事業者連携とツーリズムを活用する新たなエリアマネジメント

都市マーケティング機能の高度化に向けて、千葉市の観光の枠を超えた様々な関係者がコンソーシアムとして目標を共有する。多様な主体が連携して民間活力とツーリズムを活かした新しい試みやプロジェクトの創発などができる仕組みと「オール千葉市体制」を構築することで地域の産業を強化（育成する）という視点。

視点4. 住民と一体となった持続可能なまちづくり

住民と一体となった持続可能なまちづくりに向けて、交流を活用したシビックプライドの醸成と誰もが愉しめる観光都市を創造するという視点。

視点5. 房総のゲートウェイ機能（スポークスマン、ショーケース）強化による相乗効果と地域連携

食材・名所豊かな房総半島資源を活用したグローバル集客のための地域連携に向けて、房総半島の豊かな資源を活かしたゲートウェイ集客と、千葉市及び周辺地域の資源を組み合わせることによる訴求力向上の視点。

- 提言1. 「日本有数のコンベンション施設・幕張メッセ」を集客ハブとした国内外からの来訪者との新たな交流創造
- 提言2. 政令指定都市でありながら、「3つのエリア」を複合的に持つ強みを活かした交流創造
- 提言3. 東京から一番近いアーバンビーチリゾートとしてのブランディング
- 提言4. 地域の伝統的な祭りやイベントを活用した新たな魅力づくり
- 提言5. 民間活力による芸術・文化・歴史・産業資源活用の最大化
- 提言6. 歴史的建造物や文化施設など特別感のある会場でのイベント（ユニークベニュー）の開発と活用、そのための規制緩和
- 提言7. 「千葉市が目指す新たな観光都市マネジメント」推進に向けた民間事業者を主体とする体制構築
- 提言8. ICT活用による受け入れ環境、マーケティングの高度化と生産性向上
- 提言9. グリーンツーリズム推進による地域経済活性化
- 提言10. 食の魅力のブランド化による相乗効果
- 提言11. 若者が集まる先進的なまちづくりに向けた取り組み
- 提言12. 2020を機会としたオリパラレガシーの創造
～人にやさしいまちづくり・豊かな環境を維持するための取り組み～
- 提言13. 持続可能な交流創造に向けたシビックプライドの醸成とおもてなし向上
- 提言14. 食材・名所豊かな房総半島資源を活用したグローバル集客のための地域連携の取り組み
- 提言15. ブランディング向上による地域連携の推進